

推薦による農地利用最適化推進委員の候補者一覧（受付順）

地域	地区	被推薦者	年齢	職歴等	抱負	農業経営の状況	農業委員への応募の有無	推薦者	推薦理由
市島	前山	片瀬 一弘	70	・元会社員 ・元JA夢たんば生産部会 監事 ・JA夢たんば生産部会 会長 ・農地利用最適化推進委員	米価の上昇をきっかけに、農業従事者の減少をくい止め、又新規の農業就業者が増える様、耕作しやすい様に農地の集約化、遊休農地の減少に努め、効率の良い農地になる様努めたいと思います。	専業 自作地 9,590㎡ 借入地 1,780㎡ 水稻・露地野菜	無し	前山地区自治振興会 会長 井上利博	温厚な性格と責任感で地域の信頼も厚く、農業への取組も熱心で地域農業の課題にも積極的に対応できる。人格、信条、行動に問題なしと判断し、推薦する。
柏原	柏原	塩見 正	71	・元団体職員 ・元公務員 ・元営農組合 組合長 ・元農事組合法人 代表理事 ・元自治会資源保全会 副会長 ・農地利用最適化推進委員	令和2年度から農地利用最適化推進委員として活動をしてきました。全農での勤務を経て、丹波市役所農業振興課で利用拡大のための、人材教育、農地計画を推進してきた経験をもとに、耕作放棄地の解消に取り組んできました。 令和4年度からは、県の治山事業の業務補佐役を行いながら、地域農業の農地についても、農地利用拡大と耕作放棄地解消のために、取り組んでまいりました。今後も、丹波市の農業振興と若手の育成、さらには丹波市農政の持続的発展の推進役として、微力を注いでまいります。	専業 自作地 7,000㎡ 借入地 1,600㎡ 水稻	無し	柏原自治協議会 会長 坂本 康子 一色 元 亀井 剛	1 豊富な農業経験と知識に基づき、農業経営を取り巻く環境を熟知され、丹波市の農業が抱える課題解決に向けた活動と丹波市の農業発展と振興・推進に期待が持てる。 2 長年の農業施策推進や計画の立案など、農業に関する造形が深いので、地域の農業従事者からの信頼が厚く、いろいろな農業に携わる方々からの意見や要望を聞き、的確なアドバイスを与えるなど、地域内の農業従事者への世話役活動に努めるなど、地域密着型活動に尽力されている。 3 農政に関した自己研鑽に常に務め、十分な熱意と資質を有している。 4 令和2年度から農地利用最適化推進委員として活動し、知識豊富な人材として柏原自治協議会として推薦する。
春日	船城	荻野 一馬	47	・農業法人 役員 ・農地利用最適化推進委員	地元の農地と農業を守っていく為に尽力し、次の世代へと繋がる活動をしたと思う。 様々な問題を一つ一つ解決に向かう様に努力したい。	専業 自作地 7,000㎡ 借入地 200,000㎡ 水稻・露地野菜・施設野菜・果樹	無し	船城自治会長会 会長 山田 吉晴	荻野一馬氏は、丹波市農地利用最適化推進委員は、前期に引き続きの推薦となる。幅広い知識の持ち主で、先進的な考えで事業推進を行う人材である。 農業者の担い手への対応や新規参入者の支援、地域協議への参加など積極的な活動が期待される。